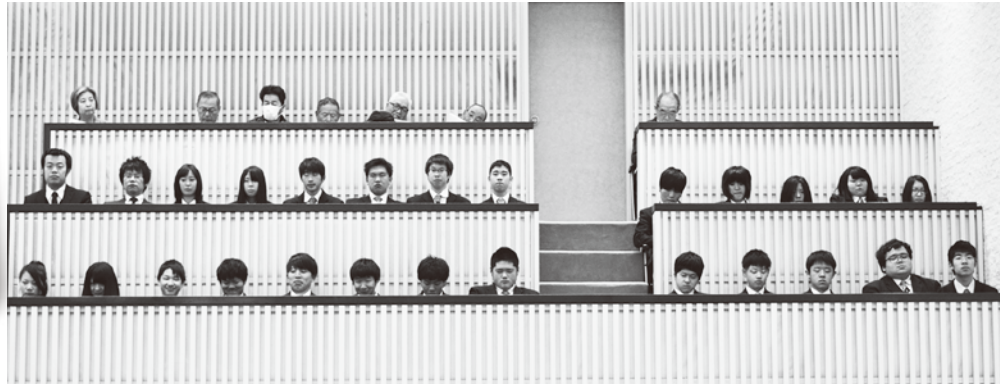


# 主権者教育

# 政治や選挙を学ぶ高校生が 県立那須高等学校生



那須高生の主権者教育のようす



## 「主権者教育」の推進



県立那須高等学校  
教諭 田村 充さん

既報の通り、今夏の参院選から選挙権年齢が18歳に引き下げられる。各地で様々な取り組みがなされており、本校でも昨年度、現三年生を対象に県立文書館の協力を得て実施している。

ただ、選挙権年齢の引き下げばかりが目立っており、その意義がきちんと理解されているかという点、難しい。20歳代と60歳代の投票率には二倍以上の差がある。そして若者の政治離れが、政策に歪みを生じさせている。ただ投票に行くのではなく、良い社会を作り出すためと理解していなければ、選挙権年齢が何歳になろうが、問題の本質は解決できない。

文科省によると、「市民と政治との関わり」を学ぶこと

を、主権者教育と定義づけている。その「関わり」を、このような議会傍聴という形で設けて頂いた。高校や議会だけで行うのではなく、それらが連携をして、社会を支える市民を育てる（※シチズンシップ教育）契機としていきたい。

※シチズンシップ教育  
公民権教育のこと

議場見学で執行部席に座るなど、貴重な体験をしました。

